

としま 議会だより

令和5年3月発行（年4回発行）Toshima Village 2023.3 No.100



▲ほしのご園 節分の様子（中之島）

TOPIX

○令和4年12月定例会

12月12日～12月14日（3日間）

- ・条例の制定・改正 6件
- ・補正予算 8件
- ・契約 5件
- ・権利の放棄 1件
- ・村道認定 1件
- ・同意 1件
- ・損害賠償額 1件
- ・発議 1件

議会事務局では、議会だよりの表紙に掲載する写真を随時募集しています。

○一般質問 4件

- ・田中 秀治 議員・・・2P
- ・坂元 勇 議員・・・2P
- ・永田 和彦 議員・・・3P
- ・日高 助廣 議員・・・3~4P

再生可能エネルギー利用・
農業振興について

田中 秀治 議員

○田中議員 地球温暖化対策の為
本村においても再生可能エネル
ギーの利用について考えるべきだ
と思うが、村長の考えを伺う。

○肥後村長 再生可能エネルギー
については、これまで幾つか事業
構想があったが、採算性の課題に
より企業側が断念した経緯がある。
今後はまず、村営住宅や学校等の
公共施設へ太陽光エネルギーを取
り組めるかを考えていくことにな
ると思う。

○田中議員 国もカーボンニュ
ートラルに向けて助成金を付けて後
押しするようなので、電気の地産
地消を目指すチャンスだと思う。
本村では、風力発電が向いている
と思うが村長の考えを伺う。

○肥後村長 風力については、現
状では、風が強すぎることから、
業者が静観しているような状況で
ある。今後の技術開発次第では、
当然、風力を利用したエネルギー
利用になっていくのではと思う。

○田中議員 農業は、本村の重要産
業であるが、ここ数年進展が見られ
ない。抜本的な取り組みの見直し
が必要かと思うが村長の考えを伺う。

○肥後村長 マンパワーの問題が大
きいと考えている。生産額で言え
ば遡っていくにしたがって生産額は高
くなっている。これは、今はリタイ
アされた方々が生産活動を行って
たことで生産額があったものと推測
している。我々の地域には伝統的な
農産品もあるので、地域おこし協力
隊の活用を図りながら村としても、
バックアップするという方向になる
のではないかと思う。

○田中議員 生産者の高齢化は予想
できることであり、そこに先手を
打っていくべきだったのではない
か。今後も導入作物を予定してい
るが失敗した作物もあるのが現状で、
なぜ失敗したのか検証を重ねる必要
があるのではないか。

○肥後村長 言われる事はもつとも
である。検証は必要なことだと考え
ている。検証の中で最も大事なこと
が担い手かと思う。今回、新種の作
物を導入する中で、「体制作り」を
しっかりと取り組む必要がある。

世界情勢により、経営難にな
りつつある畜産業について

坂元 勇 議員

○坂元議員 特定離島ふるさとお
こし推進事業と国庫補助事業によ
り様々な基盤整備が進んでいるが、
分娩牛舎を早急に整備してもらい
たい。国庫補助事業の第一期目の
予算は令和二年から令和六年の間
に完了する見込みか伺う。

○肥後村長 基本的にこの五年間
で完結するよう進めているが、入
札不調が続く実行できない場合も
考えられる。まだはつきりと決まっ
たわけではないが実行出来なかつ
た分は第二期計画へ計画替えをす
るよう話をさせている。仮に入札
不調が続く場合、事業が打ち切ら
れる可能性があることは懸念する
ところである。

○坂元議員 貴重な予算なので、
余すことなく執行してもらいたい。
令和七年度からは第二期に入るが
令和七年度以降は希望・要望が変
わるかと思う。うまく取り入れて
畜産経営の励みになるよう要望す
る。生産コストが上がってきて

おり、配合飼料に対しては補助が
あるが、粗飼料についても補助が
できないか。

○肥後村長 粗飼料については第
二期計画の中に重点的に考えた方
が良いと考えている。第一期計画
の中で県職員より、「余りにも牧場
が広すぎる。小分けにして、飼料
作りも兼ねた牧場にもできる」と
話があったようだ。そうすれば草
もある程度確保されると思う。補
助金については、検討したい。

○坂元議員 中之島で草作りを
行っているが、ぜひ事業を拡大し
て草作りに取り組めない農家へ安
く草を購入できるようにしてもら
いたい。

○肥後村長 草作りは中之島だけ
で終わらせる問題ではなく、他の
島でもそういう考えを持ってもら
いたい。来年度、検討会をもつ
で牧場の在り方、草地事業の進め
方という新しい発想を考えてもら
えればと思う。

○坂元議員 スマート農業などを
取り入れて、重労働だと思われる
畜産を魅力ある畜産へ、村も
知恵を出して協力してもらいたい。

ごみのリサイクル処理問題・
急患搬送について

永田 和彦 議員

○永田議員 毎週家庭ごみ回収は現業職により行われており、毎月一回程度リサイクルごみを島外へ搬出している。中には回収できない品目があるかと思うが具体的に示してほしい。

○肥後村長 ごみについては、一般廃棄物と産業廃棄物に大別されリサイクル活動等で回収できない品目については、産業廃棄物で、具体的には、廃ドラム缶や洗浄が確認できない一斗缶等、石膏ボード・廃タイヤ・特定家電類（テレビ・冷蔵庫等）になる。

○永田議員 廃自動車・二輪車の登録抹消から島外搬出まで、併せて冷凍ストッカーの廃棄についてどのような流れで廃棄されているか、費用はどの程度必要か伺う。

○肥後村長 使用済み自動車・二輪車については、登録抹消を完了しておく必要があり、排出者は出張所を通じて事前に処分届を提出し、輸送日を設定のうえ処分業者

へ引き渡される。費用負担は、使用済み自動車では海上輸送費の2割と事務手数料、二輪車は海上輸送費の1割と陸上輸送量1、100円になる。冷凍ストッカーの処分等の流れは前述と同様だが、フロンガスについては排出者負担で処理する必要がある。

○永田議員 ごみの不法投棄について、一部地域で、いまだに不法投棄が続いている。行政として、実態をどのように把握しているか伺う。

○肥後村長 不法投棄は、国内において所有地内であっても違法であり犯罪になる。事業者はもちろん住民の行為であっても許されるものでない。対策として先の輸送費補助を実施し、住民へ広報・周知を図り徹底していきたい。

○永田議員 ドクターヘリの搬送先を鹿児島本土にしてほしいという意見が出ている。親類が奄美にいないことが不安なのだと思うが、県立大島病院では、入院後の相談を受け付ける「地域医療連携室」というものがあるそうだ。そういったことを周知すれば不安が軽減す

ると思うが、行政としてこれまでどのような対応をしてきたか伺う。

○肥後村長 奄美ドクターヘリは運用から6年が経過し運用開始前と比べると要請から収容まで大幅に時間が短縮された。今後においても生命を守ることを第一に考えるべきである。村政座談会においても基本的に奄美へ搬送されることに加え、対応できない場合は本土へ施設間搬送が可能なことなどを説明し理解を求めている。

本村の医療体制について
日高 助廣 議員

○日高議員 本村の医療体制については準無医村であることから、日赤病院等の巡回診療が実施されているが、医師の居ない空白期間があり健康の不安、病院受診の負担が生じている。村独自の医師の確保が急務かと考えるが、村長の見解を伺う。

○肥後村長 各診療所に複数の看護師と医師を配置するのが究極の理想である。沖縄県の離島では、

診療所は自治体でなく、県が設置し県立病院の中で医師、看護師を配置している事例があるが、この方式は困難かと思う。現在、赤字病院から常勤医師を派遣する事が困難であることから、常勤医師は派遣されていない。村独自の医師を確保するより、むしろ、現在派遣されていない常駐医師の制度を復活させることが現実的か考える。

○日高議員 看護師の業務は激務であり働き方改革の観点から適正な休暇取得等の村の対応について伺う。併せて、看護師の島間の異動を来年度以降も行うか伺う。

○肥後村長 看護師の休暇取得については、2名体制を図ったことから容易となっている。

異動については、最適配置・人材育成・組織の活性化の観点から、状況を勘案し実施していく。

○日高議員 快適な環境で医療を提供するには診療所の適正な維持管理が必要だが、現状では経年劣化による老朽化が見受けられる。今後のメンテナンス、改修計画について伺う。

○肥後村長 諏訪之瀬島診療所を除き建築から29年から35年経過しており、減価償却資産の耐用年数の39年が迫ってきている。今後の更新については、厚生労働省の補助金を活用することを念頭に財政シミュレーション等を実施しながら整備計画を立てていくことが必要になる。診療所の経年劣化については状況確認を実施しており、現在進めている第6次総合振興計画に掲載の上、設備を更新していくことになる。

○日高議員 医療は離島も本土も区別ないという認識で訴えている。今の現状に甘えることなく前に進まなければ村の医療体制は変わらないのではないかと、もう一歩踏み出して、医療体制について、取り組んでいくのではないかと。

○肥後村長 行政は、今の体制で満足していることは全くない。現実的な事を考えなくてはならない。各島に医師が1名いるべきという方針に変わりはないが、現在派遣されていない常勤医師の派遣を再開し、上4島に1名、下3島に1名の医師を置くという事から進めるべきではないかと考える。

議決結果

十島村議会令和4年12月定例会 議決結果 24 案件を審議し、全て全会一致で原案のとおり可決致しました。

審議した案件	村長提出案件	23 件
可決・採決状況	原案可決	24 件
可決した主な議案	・ 条例の制定・改正 (6件)	・ 令和4年度補正予算について (8件)
	・ 契約の締結について (5件)	・ 権利の放棄 (1件)
	・ 村道認定 (1件)	・ 同意 (1件)
	・ 損害賠償の額 (1件)	・ 発議 (1件)

令和4年度補正予算

・ 一般会計	補正第3号	+97,898 千円	→	4,795,570 千円
・ 一般会計	補正第4号	+424,062 千円	→	5,219,632 千円
・ 国保特会	補正第1号	+12,582 千円	→	172,762 千円
・ 船舶特会	補正第2号	+25,931 千円	→	1,443,407 千円
・ 介護特会	補正第2号	+3,341 千円	→	82,552 千円
・ 簡水特会	補正第2号	+1,692 千円	→	179,136 千円
・ 後期特会	補正第1号	+207 千円	→	20,459 千円
・ 診療特会	補正第3号	+3,349 千円	→	191,464 千円

条例制定

○十島村敬老祝金等の支給条例の一部を改正する条例制定

基準日を改定し、暦年で分けすることで、同じ年に生まれた方の公平性を保つため、所要の改正を行うもの。

○十島村船舶使用料条例の一部を改正する条例制定

学生に対する運賃及び料金の適用条件について、利便性の向上を図るため、所要の改正を行う。
他4件

契約

○切石港泊地災害復旧工事請負契約

○宝島前籠宝島港線舗装補修工事請負変更契約

○小宝島港泊地浚渫工事請負変更契約

○東之浜港改修工事（1工区）請負変更契約

○東之浜港改修工事（2工区）請負変更契約

同意

○十島村教育委員会の委員の任命について同意を求める件

十島村教育委員会のうち1名が令和4年12月15日で任期満了となることから、令和4年12月16日から令和8年12月15日までを任期とする教育委員の任命について、同意を求める。

氏名 吉田 昌恵氏

損害賠償

○損害賠償額を定める件

十島村諏訪之瀬島内で発生した自動車事故について、村長の専決処分事項の指定の規定により、損害賠償の額を決定し、示談を締結したので、地方自治法第180条第2項の規定に基づき報告する。

発議

○十島村議会議員の報酬等の特例に関する条例制定の件

議会議員の報酬の月額、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間において、十島村議会議員等の報酬及び費用弁償等に関する条例第2条別表第1の規定にかかわらず、同条の定める額からその100分の10に相当する額を減じた額とする。

YouTube 配信が始まりました！！

十島村議会では、令和4年12月議会よりYouTube配信が始まりました！

初日は、延べ100名を超える方にご視聴いただきました。ありがとうございます。今後も改善していきながら配信をしたいと考えていますので、ご意見ご要望等ございましたら、議会事務局までお知らせください。

ぜひともチャンネル登録をよろしくお願いいたします。

議会のペーパーレス化

十島村では、令和3年12月の光ブロードバンドの開通に伴い、デジタル化の推進を図っています。議会においてもデジタル化の一環としてペーパーレス会議システムを試験導入致しました。初めてのことで慣れないこともありましたが、問題なく議会を終えました。今後も引き続き、デジタル化を推進していきます。

▼ペーパーレス会議システムでの議会の様子



12月議会ライブ中継視聴者数

	12/12	12/13	12/14	合計
口之島	0	0	0	0
中之島	0	0	0	0
諏訪之瀬島	0	0	0	0
平島	0	0	0	0
悪石島	1	1	0	2
小宝島	0	0	0	0
宝島	1	1	1	3
合計	2	2	1	5
YouTube	103	60	56	219

編集後記

今回の議会だよりは、4名の議員の一般質問と議決結果を中心に編集しています。12月議会のライブ中継の視聴者数は右のとおりです。

議長 前田 功一

議会広報調査特別委員会

委員長 田中 秀治

副委員長 永田 和彦

委員 土岐 純郎

委員 岩下 正行

委員 日高 久志

委員 日高 助廣

委員 坂元 勇